

# 平成28年度版 現代の国語

## 学習活動の重点化等に資する 年間指導計画参考資料

### 【中学1年】

この資料は、生徒の学びの保障を目的に、教科書の内容から「学校の授業で取り上げることが必要であると考えられる教材・学習活動」と「学校の授業以外の場での学習が可能であると考えられる教材・学習活動」とに区別して、学習活動の重点化の観点から教材ごとの配当時数、主な学習活動などをご提案するものです。地域や学校の状況に応じてご活用ください。

また、年度末段階で指導できなかった内容を次学年に移すなど、次年度以降を見通した教育課程を編成することも考えられます。その際には、引き継ぎを徹底するなど、ご配慮くださいますようお願いいたします。

令和2年7月

三省堂

青の網掛け：学校の授業以外の場において行うことが考えられる教材・学習活動

黄の網掛け：学習指導要領の改訂に伴う移行措置

■学習指導要領の指導事項と本資料での略称

領域	略号	1年	2年	3年	事項	略号	1年	2年	3年
話すこと・聞くこと	Aア	話題設定や取材	話題設定や取材	話題設定や取材	伝統的な言語文化	伝国ア(ア)	文語のきまりや訓読の仕方を知り、古文や漢文を音読して、古典特有のリズムを味わいながら、古典の世界に触れること。	作品の特徴を生かして朗読するなどして、古典の世界を楽しむこと。	歴史的背景などに注意して古典を読み、その世界に親しむこと。
	Aイ	話すこと	話すこと	話すこと					
	Aウ			聞くこと					
	Aエ	聞くこと	聞くこと	話し合うこと					
	Aオ	話し合うこと	話し合うこと	—					
書くこと	Bア	課題設定や取材	課題設定や取材	課題設定や取材・構成	伝国ア(イ)	古典には様々な種類の作品があることを知ること。	古典に表れたものの見方や考え方に触れ、登場人物や作者の思いなどを想像すること。	古典の一節を引用するなどして、古典に関する簡単な文章を書くこと。	
	Bイ	構成	構成	記述					
	Bウ	記述	記述	推敲					
	Bエ	推敲	推敲	交流					
	Bオ	交流	交流	—					
読むこと	Cア	語句の意味の理解	語句の意味の理解	語句の意味の理解	言葉の特徴やきまり	伝国イ(ア)	言葉の働きや特徴、言葉遣い	言葉の働きや特徴、言葉遣い	言葉の働きや特徴、言葉遣い
	Cイ	文章の解釈	文章の解釈	文章の解釈		伝国イ(イ)	語句・語彙	語句・語彙	語句・語彙
	Cウ		自分の考えの形成	自分の考えの形成		伝国イ(ウ)			
	Cエ	自分の考えの形成	—	—		伝国イ(エ)	単語、文及び文章	単語、文及び文章	—
	Cオ		読書と情報活用	読書と情報活用		伝国イ(オ)	表現の技法		—
	Cカ	読書と情報活用	—	—	漢字	伝国ウ(ア)	漢字の読み	漢字の読み	漢字の読み
						伝国ウ(イ)	漢字の書き	漢字の書き	漢字の書き

■評価規準の観点と本資料での略称

関：国語への関心・意欲・態度

話聞：話す・聞く能力

書：書く能力

読：読む能力

言：言語についての知識・理解・技能

# 平成28年度版『現代の国語』年間学習指導計画例

## ■1年

単元名	ページ	教材名【領域】 ●学習目標	時数	おもな学習活動	評価規準B (おおむね満足できる状況)	学習指導要領 の指導事項・ 言語活動例	
新しい世界へ	14 ～ 17	朝のリラ 【読(詩)】  ●表現に着目しながら読み、詩に表れているものの見方や考え方を捉える。	2	◆学習目標を確認し、学習の見通しをもつ。 1 詩に出てくる地名を地球儀や地図で確認したうえで朗読する。 2 詩を読んで考えたことを書く。 [学びをひろげよう] 3 A・Bどちらかの課題を選んで取り組む。 A 詩に合う写真や音楽を探して朗読する。 B 詩に出てきたフレーズを使って詩を作る。 ◆学習目標を再確認し、学びを振り返る。	1 時間	関 詩に表れているものの見方や考え方を捉えようとしている。 読 表現に着目しながら読み、詩に表れているものの見方や考え方を捉えている。 言 事象や行為などを表す多様な語句について理解を深めている。	Cオ [言語活動] Cア(音読・朗読)
	18 ～ 24	オオカミの友だち 【読(物語)】  ●場面の展開や登場人物の描写に注意して読み、登場人物の気持ちの変化を捉える。	4	◆学習目標を確認し、学習の見通しをもつ。 1 「オオカミ」のこぼや気持ちに対して、「クマ」はどんな行動をしたのか確認する。 2 最後の場面で、「オオカミ」が「二人で食べた魚の味が懐かしくなる」のはなぜか、理由を考える。 [学びをひろげよう] 3 登場する動物が、どうして「オオカミ」と「クマ」なのか、考えたことを話し合う。 ◆学習目標を再確認し、学びを振り返る。		関 展開や描写に注意して、登場人物の気持ちの変化を捉えようとしている。 読 場面の展開や登場人物の描写に注意して読み、登場人物の気持ちの変化を捉えている。 言 事象や行為などを表す多様な語句について理解を深めている。	Cウ [言語活動] Cア(音読・朗読)
	25 ～ 30	聞き上手、話し上手になるために スピーチ 【話聞】  ●話す速度や音量、ことばの調子や間の取り方、身振りや手振りなどの効果を意識しながら話す。 ●相づちやうなずきなどにより、話し手が話しやすい環境を作りながら聞く。	4	◆学習目標と学習の流れを確認し、学習の見通しをもつ。 1 スピーチ実験をする。 ・実験1: 聞き方を変えてみる。 ・実験2: 話し方を変えてみる。 2 実験について振り返り、話し合う。 3 スピーチ発表会を開く。 ・テーマを選ぶ。 →p260 資「さまざまな思考方法を使う」 ・スピーチメモを作って、練習を重ねる。 →p262 資「メモを活用する」 ・スピーチをする。 ◆学習目標を再確認し、学びを振り返る。	1 時間	関 聞き上手、話し上手の技を意識しながら、スピーチ実験やスピーチに積極的に取り組んでいる。 話聞① 話す速度や音量、ことばの調子や間の取り方、身振りや手振りなどの効果を意識しながら話している。 話聞② 相づちやうなずきなどにより、話し手が話しやすい環境を作りながら聞いている。 言 音声のはたらきやしぐみについて理解を深めている。	Aウ [言語活動] Aア(紹介)
①わかりやすく伝える	32 ～ 35	読み方を学ぼう①【説明文の基本構造】 ペンギンの防寒着	1	◆学習目標を確認し、学習の見通しをもつ。 1 筆者が立てた「問い」を探し出し、手がかりになることばに注意して、「問い」に対する「仮説」を見つける。 2 文章を「序論」「本論」「結論」に分ける。 3 筆者が読み手にわかりやすく伝えるためにしている工夫を探して、その効果を考える。 4 「クジラの飲み水」を読むときに、「ペンギンの防寒着」で学んだ読み方の、どんなところを活用したか、発表し合う。 [学びをひろげよう]		関 文章の展開を捉えて内容を読み取ったり、表現の工夫を捉えたりしようとしている。 読① 段落と段落の関係に着目しながら、文章の展開を捉え、内容を読み取っている。 読② 読み手にわかりやすく伝えるための、筆者の表現の工夫を捉えている。	Cエ [言語活動] Cイ(文章と図表との関連)
	36 ～ 42	クジラの飲み水 【読(説明)】  ●段落と段落の関係に着目しながら、文章の展開を捉え、内容を読み取る。 ●読み手にわかりやすく伝えるための、筆者の表現の工夫を捉える。	4	5 A・Bどちらかの課題を選んで取り組む。 A 写真やグラフが示されていることの効果を考える。 B もう一つ写真や図表を入れるとしたら、どのようなものをどこに入れるのか、考える。 ◆学習目標を再確認し、学びを振り返る。	1 時間	言 指示する語句や接続する語句などに注意して読んでいる。	

単元名	ページ	教材名【領域】 ●学習目標	時数	おもな学習活動	評価規準B (おおむね満足できる状況)	学習指導要領 の指導事項・ 言語活動例
	43 216 ～ 220	文法のまど1 ことばの単位・文節の関係【言】 →文法のまとめ ●ことばの単位・文節の関係について理解する。	2	1 文・文節・単語ということばの単位について理解する。 2 p216-220「文法のまとめ」「1 ことばの単位」「2 文節の関係・連文節・文の成分」について理解する。 3 p220 の「確認しよう」を用いて、学習したことを確かめる。	関 ことばの単位・文節の関係に関心を持ち、積極的に課題に取り組んでいる。 言 ことばの単位・文節の関係について理解している。	伝国イ(エ)
	44 ～ 49	調べたことを整理して、わかりやすくレポート【書】 ●調べて集めた情報を分析・整理して、まとめや順序を考えて文章を構成する。 ●わかりやすい説明になるように、表・グラフ・イラストなどを効果的に用いる。	6	◆学習目標と学習の流れを確認し、学習の見直しをもつ。 1 「問い」を手がかりにして、レポートの課題を決める。 2 情報を集めて、整理する。 ・調査してわかったことをカードに記録する。 ・集めた情報を分類し、整理する。 ・「グルーピング」「ラベリング」「ナンバリング」の手法を活用する。 →p234 資「情報探しのヒント」/p264 資「インタビューをする」 3 レポートにまとめる。 ◆学習目標を再確認し、学びを振り返る。	関 調べたことを整理して、わかりやすい レポートを書こうとしている。 書① 調べて集めた情報を分析・整理して、まとめや順序を考えて文章を構成している。 書② わかりやすい説明になるように、表・グラフ・イラストなどを効果的に用いている。 言 接続する語句・指示する語句などに注意して書いている。	Bイ [言語活動] Bイ(図表を用いた説明)
	50 ～ 51	漢字のしくみ1 活字と手書き文字・画数・筆順【漢】 ●活字と手書き文字・画数・筆順についての理解を深める。	1	1 活字と手書き文字・画数・筆順について考える。 2 「確かめよう」の課題に取り組む。 →p271 資「辞典を活用する」	関 活字と手書き文字・画数・筆順に関心を持ち、積極的に課題に取り組んでいる。 言 活字と手書き文字・画数・筆順についての理解を深めている。	伝国ウ(ア)
	52	漢字を身につけよう1【漢】 ●漢字の読み書きについての理解を深める。		1 中学校で学習する漢字を読む。 2 中学校で新しく学習する読みを学ぶ。 →p290 資「一年生で学ぶ漢字字典」 ※「漢字を身につけよう」は、年間をととして計7時間を配当している。	関 新しく学習する漢字の読み書きについて関心を深め、意欲的に習得しようとしている。 言 新しく学習する漢字の読み書きについて理解を深めている。	伝国ウ(ア)
② か か わ り を と ら え る	54 ～ 63	空中ブランコ乗りのキキ【読(物語)】		◆学習目標を確認し、学習の見直しをもつ。 1 登場人物を書き出し、キキとの関わりを整理する。 2 キキはなぜ四回宙返りに挑んだのか、考える。 3 キキの行動や考え方についての自分の考えを、100字程度の文章にまとめる。 [学びをひろげよう] 4 A・Bどちらかの課題を選んで取り組む。 A 問いを選んで、理由とともに自分の考えをまとめる。 ・「おばあさん」はどのような役割を担っているか。 ・「白い大きな鳥」は何を表しているのか。 B 登場人物を一人選び、その人物から「キキへの手紙」を書く。 ◆学習目標を再確認し、学びを振り返る。	関 場面の展開や登場人物の描かれ方に注意して読み、その判断や行動について自分の考えをもとうとしている。 読① 場面の展開や登場人物の描かれ方に注意して読んでいる。 読② 登場人物の判断や行動について、自分の考えをもっている。 言 事象や行為などを表す多様な語句について理解を深めている。	Cウ・Cオ [言語活動] Cア(音読・朗読)

単元名	ページ	教材名【領域】 ●学習目標	時数	おもな学習活動	評価標準B (おおむね満足できる状況)	学習指導要領 の指導事項・ 言語活動例
	65 ～ 67	ことば発見1 音声のしくみとはたらき【言】  ●音声のしくみとはたらきについての理解を深める。	1	1 日本語の音節や五十音図のしくみなどを理解し、音声のしくみとはたらきについて考える。 2 「五十音図とローマ字」を見て、母音と子音のしくみを確認する。 3 「確かめよう」の課題に取り組む。	関 音声のしくみとはたらきに関心をもち、積極的に課題に取り組んでいる。 言 音声のしくみとはたらきについての理解を深めている。	伝国イ(ア)
	68 ～ 73	チームの力を引き出す 質問【話聞】  ●質問を効果的に使い、自分の考えと同じ点や違う点を確認したり、整理したりする。 ●テーマを探求したり問題を解決したりするための質問や話し合いのあり方について考える。	4	◆学習目標と学習の流れを確認し、学習の見直しをもつ。 1 質問の種類を考える。 ・定める問い(イエス・ノー型/選択型) ・広げる問い(情報取り出し型/思考うながし型) 2 質問の目的と効果を確認する。 ・わからないことを確かめる質問 ・考えを深め、テーマに迫っていく質問 3 話し合いの場で実践する。 ◆学習目標を再確認し、学びを振り返る。	関 チームの力を引き出す質問を意識して、積極的に話し合っている。 話聞① 質問を効果的に使い、自分の考えと同じ点や違う点を確認めたり、整理したりしている。 話聞② テーマを探求したり問題を解決したりするための質問や話し合いのあり方について考えている。 言 語句の辞書的な意味と文脈上の意味との関係に注意し、語感を磨いている。	Aエ [言語活動] Aア(質問)
	74 ～ 78  79	字のない葉書【読書(随筆)】  読書活動「読書郵便」を楽しもう  ●本や文章から情報を集めるための方法を身につけて、目的に応じて必要な情報を読み取る。	2	1 教材文を通読する。 2 図書館などを利用して、随筆を読み、内容を引用して紹介し合う。 →p228 資「小さな図書館」	1 時間 関 随筆を読むことを契機として、目的に応じて本から情報を読み取り、紹介しようとしている。 読 本や文章から情報を集めるための方法を身につけて、目的に応じて必要な情報を読み取っている。 言 事象や行為などを表す多様な語句について理解を深めている。	Cカ [言語活動] Cウ(引用して紹介)
	80	漢字を身につけよう2【漢】  ●漢字の読み書きについての理解を深める。		1 中学校で学習する漢字を読む。2 中学校で新しく学習する読みを学ぶ。 →p292 資「一年生で学ぶ漢字字典」	関 新しく学習する漢字の読み書きについて関心を深め、意欲的に習得しようとしている。 言 新しく学習する漢字の読み書きについて理解を深めている。	伝国ウ(ア)
③情報を読み解く	82 ～ 87  88	食感のオノマトペ【読(説明)】  読み方を学ぼう③【図表と文章】説得力は文字以外でも  ●図表と文章との関係に注意しながら、事実とそれに基づく筆者の考えを読み分ける。 ●オノマトペの意味や効果について、自分の考えをもつ。	5	◆学習目標を確認し、学習の見直しをもつ。 1 「食感のオノマトペ」について、筆者の調査方法と調査結果を表にまとめる。 2 文中のグラフを見て、気づいたことや考えたことを箇条書きで書き出す。 3 「食感のオノマトペ」についての筆者の意見を要約する。 4 この文章において、グラフはどんな効果を果たしているか、本文との関連に注意して、考える。 [学びをひろげよう] 5 2枚の写真から1枚を選んで、それを食べたときのことをオノマトペを使って表現する。 ◆学習目標を再確認し、学びを振り返る。	0.5 時間 関 事実と筆者の考えとを読み分けようとしていたり、オノマトペの意味や効果について自分の考えをもとうとしていたりしている。 読① 図表と文章との関係に注意しながら、事実とそれに基づく筆者の考えを読み分けている。 読② オノマトペの意味や効果について、自分の考えをもっている。 言 事象や行為などを表す多様な語句について理解を深め、文章の中の語彙について関心をもっている。	Cイ [言語活動] Cイ(文章と図表との関連)

単元名	ページ	教材名【領域】 ●学習目標	時数	おもな学習活動	評価規準B (おおむね満足できる状況)	学習指導要領 の指導事項・ 言語活動例	
	89 ～ 90	ことば発見2 話しこ とばと書きことば 【言】  ●話しことばと書きこ とばについての理解を 深める。	1	1 教材文を読み、話しことばと書きことばのそ れぞれの特徴を理解する。 2 話しことばにおける、イントネーション・プロ ミネンス・アクセントについて理解を深める。 3 「確かめよう」の課題に取り組む。	関 話しことばと書きことばに 関心をもち、積極的に課題 に取り組んでいる。 言 話しことばと書きことばに ついての理解を深めてい る。	2年伝国イ (ア)	
	91 ～ 95	目的や相手に応じ て、情報を編集する 行事案内リーフレット 【書】  ●目的と相手を明確に して集めた情報を分類・整理して、わかり やすく構成する。 ●文章を読み返し、表 記や表現の仕方など を確かめて、相手にと って必要な情報が正 しくわかりやすく伝わ るものにする。	6	◆学習目標と学習の流れを確認し、学習の見 通しをもつ。 1 掲載内容を決める。 ・案内する行事を決める。 ・届ける相手を決める。 ・行事についての情報を集め、リーフレット の掲載内容を考える。 2 構成を考える。 3 推敲して清書する。 →p277 資「推敲の仕方と観点」 4 交流して、リーフレット作りを振り返る。 ◆学習目標を再確認し、学びを振り返る。	1 時間	関 目的や相手に応じて情報 を編集して、わかりやすい 行事案内リーフレットを作ろ うとしている。 書① 目的と相手を明確にし て集めた情報を分類・整理 して、わかりやすく構成して いる。 書② 文章を読み返し、表記 や表現の仕方などを確かめ て、相手にとって必要な情 報が正しくわかりやすく伝わ るものになっている。 言 事象や行為などを表す多 様な語句について理解を深 めている。	Bイ・Bエ [言語活動] Bウ(行事の 案内)
	96 ～ 97	漢字のしくみ2 部首 と成り立ち 【漢】  ●部首と成り立ちにつ いての理解を深める。	1	1 漢字の部首と成り立ちについて考える。 2 漢和辞典を活用し、「確かめよう」の課題に 取り組む。	関 部首と成り立ちに関心をもち、積極的に課題に取り組 んでいる。 言 部首と成り立ちについて の理解を深めている。	伝国ウ(ア)	
	98	漢字を身につけよう3 【漢】  ●漢字の読み書きにつ いての理解を深める。		1 中学校で学習する漢字を読む。 2 中学校で新しく学習する読みを学ぶ。 →p293 資「一年生で学ぶ漢字字典」	関 新しく学習する漢字の読 み書きについて関心を深 め、意欲的に習得しようと している。 言 新しく学習する漢字の読 み書きについて理解を深め ている。	伝国ウ(ア)	
古典に学ぶ	100 ～ 103	月を思う心 【伝(解説)】	1	◆学習目標を確認し、学習の見通しをもつ。 1 歴史的仮名遣いや古典のことばに注意し て、音読する。 2 主な登場人物の行動と性格をまとめ、それ ぞれの人物に対する自分の考えを書く。 3 この物語で最も悲しんだのは誰か、その理 由とともに考える。	関 音読をとおして古典の世 界にふれようとして、物語 のおもしろさについて、自分 の意見をもとうとしてしてい る。 読 現代とのつながりを考えて 読み、物語のおもしろさに ついて、自分の意見をもつ ている。	伝国ア(ア)・ 伝国ア(イ) Cエ [言語活動] Cア(音読・ 朗読)	
	104 ～ 114	竹取物語 【伝(古文)】	5	[学びをひろげよう] 4 「月を思う心」「竹取物語」を参考にしなが ら、昔の人々の「月」への思いに対する自 分の意見を200字程度で書く。 ◆学習目標を再確認し、学びを振り返る。	1 時間		言 古文の仮名遣いやリズム に注意して音読し、古典の 世界にふれている。
	115	古典情報 古典の仮 名遣い  ●古文の仮名遣いやリ ズムに注意して音読 し、古典の世界にふ れる。 ●現代とのつながりを考 えて読み、物語のお もしろさについて、自 分の意見をもつ。					

単元名	ページ	教材名【領域】 ●学習目標	時数	おもな学習活動	評価規準B (おおむね満足できる状況)	学習指導要領 の指導事項・ 言語活動例	
	116 ～ 119  120 ～ 121	<b>故事成語——矛盾【伝(漢文)】</b>  <b>古典情報 漢文の読み方</b>  ●訓読の仕方にふれ、漢文調のリズムに注意して音読する。 ●現代にも受け継がれている故事成語の由来について理解を深める。	3	◆学習目標を確認し、学習の見直しをもつ。 1 漢文調のリズムに注意して、「矛盾」の文章を繰り返し音読する。 2 「矛盾」の現在の意味を理解し、その由来をp117の四つの絵に従って説明する。 [学びをひろげよう] 3 A・Bどちらかの課題を選んで取り組む。 A 他の故事成語を調べ、それを使って短い文章を作る。 B 故事成語をテーマにした紙芝居を作る。 ◆学習目標を再確認し、学びを振り返る。	1 時間	<b>関</b> リズムに注意して音読しようとして、故事成語の由来について理解を深めようとしていたりしている。 <b>読</b> 現代にも受け継がれている故事成語の由来について理解を深めている。 <b>言</b> 訓読の仕方にふれ、漢文調のリズムに注意して音読している。	伝国ア(ア) Cア [言語活動] Cア(音読・朗読)
	122	<b>漢字を身につけよう4【漢】</b>  ●漢字の読み書きについての理解を深める。		1 中学校で学習する漢字を読む。 2 中学校で新しく学習する読みを学ぶ。 →p295 資「一年生で学ぶ漢字字典」		<b>関</b> 新しく学習する漢字の読み書きについて関心を深め、意欲的に習得しようとしている。 <b>言</b> 新しく学習する漢字の読み書きについて理解を深めている。	伝国ウ(ア)
④論理的に考える	124 ～ 130  131 ～ 133	<b>玄関扉【読(説明)】</b>  <b>読み方を学ぼう④【三角ロジック】主張・事実・理由づけ</b>  ●文章に示された事実と筆者の意見と理由を読み分けて、要旨を捉える。 ●玄関扉の例を中心に、文化の違いについて、自分の考えをもつ。	5	◆学習目標を確認し、学習の見直しをもつ。 1 教材文を通読し、初発の感想を交流する。 2 日本と欧米の玄関扉について、表を完成させる。 3 玄関扉のそれぞれの開き方と人々のコミュニケーションについて、筆者がどのように関連づけて述べているかを考える。 4 「三角ロジック」を読み、「主張」「事実」「理由づけ」の関係について理解する。 [学びをひろげよう] 5 A・Bどちらかの課題を選んで取り組む。 A 教材文のサブタイトル(副題)を考える。 B 「玄関扉」と同じような文化の違いを生活の中から見つけ、話し合う。 ◆学習目標を再確認し、学びを振り返る。	1 時間	<b>関</b> 事実と意見と理由とを読み分けて要旨を捉えようとしていたり、文化の違いについて自分の意見をもとうとしていたりしている。 <b>読①</b> 文章に示された事実と筆者の意見と理由を読み分けて、要旨を捉えている。 <b>読②</b> 玄関扉の例を中心に、文化の違いについて、自分の考えをもっている。 <b>言</b> 事象や行為などを表す多様な語句について理解を深め、文章の中の語彙について関心をもっている。	Cイ・Cオ [言語活動] Cイ(説明の文章)
	134 ～ 135	<b>ことば発見3 接続する語句・指示する語句【言】</b>  ●接続する語句・指示する語句についての理解を深める。	1	1 接続する語句の種類やはたらき、使い方について理解する。 2 指示する語句の種類やはたらき、使い方について理解する。 3 「確かめよう」の課題に取り組む。		<b>関</b> 接続する語句・指示する語句に関心をもち、積極的に課題に取り組んでいる。 <b>言</b> 接続する語句・指示する語句についての理解を深めている。	伝国イ(エ)

単元名	ページ	教材名【領域】 ●学習目標	時数	おもな学習活動	評価規準B (おおむね満足できる状況)	学習指導要領 の指導事項・ 言語活動例
	136 ～ 141	論理で迫るか、感情に訴えるか 討論ゲーム 【話聞】  ●説得力をもつように、話の構成や討論の展開を工夫して話す。 ●わかりやすく印象に残る語句を選んだり、声の調子や身振りなどに変化をつけたりして、相手に与える効果を考えて話す。 ●立場や目的にそって効果的に話したり、発言の特徴に注意して聞いたりして、自分の考えをまとめる。	4	◆学習目標と学習の流れを確認し、学習の見通しをもつ。 1 テーマを決めて、チームを編成する。 2 チームごとに討論ゲームの準備をする。 ・「論理で迫る場合」と「感情に訴える場合」の両方での発表の仕方を考える。 3 討論ゲームを行う。 ・オープニング(チーム紹介・主張スタイルの決定) ・第1ラウンド(各チームの主張・質問タイム・作戦タイム) ・第2ラウンド(各チームの主張・質問タイム) ・エンディング(ジャッジ・コメントタイム) 4 ゲームを振り返る。 ◆学習目標を再確認し、学びを振り返る。	関 論理で迫る効果、感情に訴える効果を考えながら、討論ゲームに積極的に取り組んでいる。 話聞① 説得力をもつように、話の構成や討論の展開を工夫して話している。 話聞② わかりやすく印象に残る語句を選んだり、声の調子や身振りなどに変化をつけたりして、相手に与える効果を考えて話している。 話聞③ 立場や目的にそって効果的に話したり、発言の特徴に注意して聞いたりして、自分の考えをまとめている。 言 指示する語句や接続する語句、比喩や反復などの語句の使い方に注意して話し合っている。	Aイ・Aウ・Aオ [言語活動] Aイ(討論)
	142 ～ 143	表現プラザ① 変わり身の上話 【書】  ●なり変わったものの特徴の捉え方や発想のおもしろさ、表現の工夫などについて交流する。	2	◆学習目標を確認し、学習の見通しをもつ。 1 「参考」や「例1」～「例3」を読み、何になり変わるかを決める。 2 なり変わったものの特徴から想像を広げ、そのものの特徴が表れるような、身の上話の内容と形式を考える。 3 身の上話を書く。 4 書いたものを読み合って交流する。 ◆学習目標を再確認し、学びを振り返る。	関 なり変わったものの特徴や雰囲気表現することを楽しみながら、創作活動に積極的に取り組んでいる。 書 なり変わったものの特徴の捉え方や発想のおもしろさ、表現の工夫などについて交流している。 言 事象や行為などを表す多様な語句について理解を深めている。	Bオ
	144	漢字を身につけよう5 【漢】  ●漢字の読み書きについての理解を深める。		1 中学校で学習する漢字を読む。 2 中学校で新しく学習する読みを学ぶ。 →p296 資「一年生で学ぶ漢字字典」	関 新しく学習する漢字の読み書きについて関心を深め、意欲的に習得しようとしている。 言 新しく学習する漢字の読み書きについて理解を深めている。	伝国ウ(ア)
⑤読みを深め合う	145 ～ 148	見えないだけ 【読(詩)】  ●詩の中のことばの意味を的確に捉えて、内容を理解する。 ●表現に着目しながら読み、その特徴と効果について自分の意見をもつ。	2	◆学習目標を確認し、学習の見通しをもつ。 1 教材を音読し、教材に対する第一印象を書いて交流する。 2 「見えないだけ」で「確かに在るもの」を詩から探して書き出す。 3 「あんなに確かに在るものが／まだここからは見えないだけ」に表現された作者のものの見方について、考えたことを発表する。 4 表現の特徴や効果について、気づいたことを発表する。 [学びをひろげよう] 5 この詩の形式をまねて、「見えないだけ」で「確かに在るもの」を表現する。 ◆学習目標を再確認し、学びを振り返る。	関 ことばの意味を的確に捉えて内容を理解しようとしたり、表現の特徴と効果について自分の意見をもとうとしていたりしている。 読① 詩の中のことばの意味を的確に捉えて、内容を理解している。 読② 表現に着目しながら読み、その特徴と効果について自分の意見をもっている。 言① 比喩的・象徴的な語句の使用に着目している。 言② 語句の辞書的な意味と文脈上の意味との関係に注意し、語感を磨いている。	Cア・Cエ [言語活動] Cア(音読・朗読)

単元名	ページ	教材名【領域】 ●学習目標	時数	おもな学習活動	評価規準B (おおむね満足できる状況)	学習指導要領 の指導事項・ 言語活動例
149 ～ 151		ことば発見4 比喩・ 倒置・反復・対句 【言】  ●比喩・倒置・反復・対句について理解を深める。	1	1 直喩について、例文をもとに、その効果とあわせて理解する。 2 隠喩と擬人法について理解し、表現効果を考える。 3 倒置・反復・対句のそれぞれを理解し、例文をもとに表現効果を考える。 4 「確かめよう」の課題に取り組み、比喩や倒置・反復・対句が使われている例を身のまわりから探す。	関 比喩・倒置・反復・対句に関心を持ち、積極的に課題に取り組んでいる。 言① 比喩・倒置・反復・対句について理解を深めている。 言② 語句の辞書的な意味と文脈上の意味との関係に注意し、語感を磨いている。	伝国イ(オ)
152 ～ 163 164		少年の日の思い出 【読(小説)】  読み方を学ぼう⑤ 【語り手】語っているのは誰？  ●場面展開や人物描写に着目して、登場人物の心情の変化を捉える。 ●作品の構成の工夫を読み取り、その効果について自分の考えをもつ。	6	◆学習目標を確認し、学習の見直しをもつ。 1 教材文を通読する。 2 現在と過去のそれぞれの場面における登場人物を全てあげ、その関係を整理する。 3 「ぼく」は「エーミール」のことをどう思っていたのか、「ぼく」が使っていることばを用いて説明する。 4 「3」でまとめたぼくの言動や心情について、共感するところ、疑問に思うところを発表し合う。 5 「チョウを一つ一つ取り出し、指でこなごなに押し潰してしまった」ときの心情を考える。 6 この話を打ち明けられた「私」は、「客」にどのようなことばを返すか、想像する。 7 終末の感想を書き、交流する。 [学びをひろげよう] 8 この作品を、特に印象に残ったことや注目したい表現などに絞りこんで、30秒間で紹介し合う。 ○同じところに着眼した生徒をグループにして取り組ませる方法もある。「絞りこんだ」ところを選択した理由についても発言させるようにする。 ◆学習目標を再確認し、学びを振り返る。	1 時間  関 登場人物の心情の変化を捉えようとしたり、構成上の効果について自分の考えをもととしたりしている。 読① 場面展開や人物描写に着目して、登場人物の心情の変化を捉えている。 読② 作品の構成の工夫を読み取り、その効果について自分の考えをもっている。 言 事象や行為などを表す多様な語句について理解を深めている。	Cウ・Cエ [言語活動] Cウ(引用して紹介)
165 ～ 221 ～ 226		文法のみど2 単語の 類別・品詞 【言】 →文法のみどめ  ●単語の類別・品詞について理解する。	2	1 p165 上段にあげられている8語を4グループに分けてみる。 2 下段の説明を読み、名詞・動詞・形容詞・形容動詞について、また品詞について理解する。 3 p221-222「文法のみどめ」「3 単語の類別・品詞」について理解する。 4 p222の「品詞分類表」を用いて、まとめる。	関 単語の類別・品詞に関心を持ち、積極的に課題に取り組んでいる。 言 単語の類別・品詞について理解している。	伝国イ(エ)
166 ～ 171		多角的な視点で作品 を読み解く 鑑賞文 【書】  ●想像を広げたり、いろいろな視点で分析したりして、自分の受け止め方や考えを明確にして書く。 ●書いた文章を読み合い、作品の捉え方や根拠の明確さ、表現の仕方などについて意見を交流する。	6	◆学習目標と学習の流れを確認し、学習の見直しをもつ。 1 鑑賞のポイントをつかむ。 2 鑑賞文を書く対象を選ぶ。 3 自分が選んだ絵画などについて、カードや付箋にメモする。 4 同じ絵画などを選んだ生徒でグループになり、印象を交流する。 5 自分のメモ・付箋を見直し、取捨選択して、鑑賞文の構成メモをつくる。 6 鑑賞文を書き、タイトルをつける。 7 鑑賞文を交流する。同じ絵画などを選んだグループ、異なるものを選んだグループなど、構成を変えて複数回交流の機会を設け、感想を伝え合うとともに、多様な見方や受け止め方があることを知る。 ◆学習目標を再確認し、学びを振り返る。	関 多角的な視点で作品を読み解きながら、鑑賞文を書こうとしている。 書① 想像を広げたり、いろいろな視点で分析したりして、自分の受け止め方や考えを明確にして書いている。 書② 書いた文章を読み合い、作品の捉え方や根拠の明確さ、表現の仕方などについて意見を交流している。 言 事象や行為などを表す多様な語句について理解を深めている。	Bウ・Bオ [言語活動] Bア(鑑賞)

単元名	ページ	教材名【領域】 ●学習目標	時数	おもな学習活動	評価標準B (おおむね満足できる状況)	学習指導要領 の指導事項・ 言語活動例
	172	漢字を身につけよう6 【漢】  ●漢字の読み書きについての理解を深める。		1 中学校で学習する漢字を読む。 2 中学校で新しく学習する読みを学ぶ。 →p298 資「一年生で学ぶ漢字字典」	関 新しく学習する漢字の読み書きについて関心を深め、意欲的に習得しようとしている。 言 新しく学習する漢字の読み書きについて理解を深めている。	伝国ウ(ア)
⑥ 視野を広げる	174 ～ 183	この小さな地球の上で 【読(随想)】  ●文章に出てくる語句の意味について、文脈にそつて的確に捉える。 ●地球や人間に対する筆者の考え方を読み取り、自分のものの見方や考え方を広げる。	5	◆学習目標を確認し、学習の見通しをもつ。 1 教材を通読し、感想を交流する。 2 「ナスカ高原」と「イースター島」の事例について、表に整理して比較する。 3 印象に残ったことばや、筆者の思いや考え方が強く感じられることばを選びながら、筆者の考えをまとめる。 4 筆者の考えについて、自分の考えをもつ。 [学びをひろげよう] 5 「次にやるべき大いなる仕事」の具体例を考え、地球や人間の未来について話し合う。 →p268 資「話し合いの方法を選ぶ」 ◆学習目標を再確認し、学びを振り返る。	関 語句の意味を文脈にそつて的確に捉えようとしたり、筆者の考え方を読み取って自分のものの見方や考え方を広げようとしたりしている。 読① 文章に出てくる語句の意味について、文脈にそつて的確に捉えている。 読② 地球や人間に対する筆者の考え方を読み取り、自分のものの見方や考え方を広げている。 言 語句の文脈上の意味を確かめながら文章の内容を理解している。	Cア・Cオ [言語活動] Cイ(文章と図表などとの関連・説明の文章)
	184 ～ 187	思いや感覚に向き合い、考えを確かなものに 意見文 【書】  ●日常生活の中から課題を決め、問いと対話によって、自分の考えをまとめる。 ●事実や体験から導き出した自分の考えを、根拠を明確にして書く。	5	◆学習目標と学習の流れを確認し、学習の見通しをもつ。 1 体験を問いの形で振り返る。 ・共感や違和感を覚えた体験を思い起こす。 ・対話を通して思いや感覚の理由を掘り起こす。 ・意見を一文か二文で表す。 2 意見文を組み立てる。 ・「体験」「思いや感覚」「事実」「考え」の関係を整理して、意見の根拠が明確になるように組み立てる。 3 意見文のタイトルを考える。 4 意見文を読み合う。 ◆学習目標を再確認し、学びを振り返る。	関 思いや感覚に向き合い、考えを確かなものにして、根拠が明確な意見文を書こうとしている。 書① 日常生活の中から課題を決め、問いと対話によって、自分の考えをまとめている。 書② 事実や体験から導き出した自分の考えを、根拠を明確にして書いている。 言 事象や行為などを表す多様な語句について理解を深めている。	Bア・Bウ
	188 ～ 189	表現プラザ② 即興劇にチャレンジ 【話聞】  ●声の調子や語句の選択、言葉づかいなど、役に応じた表現を工夫する。	2	◆学習目標を確認し、学習の見通しをもつ。 1 例を参考にして、架空の場面を設定する。 2 登場人物を決め、役割を決める。 3 設定に基づいて即興劇を実践する。 4 設定を変えて、繰り返し即興劇を行う。 ◆学習目標を再確認し、学びを振り返る。	関 表現の工夫を楽しみながら、即興劇に積極的に取り組んでいる。 話聞 声の調子や語句の選択、言葉づかいなど、役に応じた表現を工夫している。 言 音声のはたらきやしぐみについて関心をもち、理解を深めている。	Aウ
190 ～ 191	漢字のしくみ3 漢字の音と訓 【漢】  ●漢字の音と訓についての理解を深める。	1	1 教材文を読み、漢字の音と訓について理解を深める。 2 同音異字・同訓異字について理解を深める。 3 「確かめよう」の課題に取り組む。	関 漢字の音と訓に関心をもち、積極的に課題に取り組んでいる。 言 漢字の音と訓などの読み方について理解を深めている。	伝国イ(ウ) 伝国ウ(ア)	

単元名	ページ	教材名【領域】 ●学習目標	時数	おもな学習活動	評価規準B (おおむね満足できる状況)	学習指導要領 の指導事項・ 言語活動例	
	192	漢字を身につけよう7 【漢】  ●漢字の読み書きにつ いての理解を深める。		1 中学校で学習する漢字を読む。 2 中学校で新しく学習する読みを学ぶ。 →p299 資「一年生で学ぶ漢字字典」	関 新しく学習する漢字の読 み書きについて関心を深 め、意欲的に習得しようと している。 言 新しく学習する漢字の読 み書きについて理解を深め ている。	伝国ウ(ア)	
⑦つな がりを考 える	194 ～ 204	トロッコ 【読(小説)】	6	◆学習目標を確認し、学習の見通しをもつ。 1 冒頭の場面から、作品の設定がわかる表 現を書き抜く。 2 場面の展開にそって、情景や行動を手が かりに主人公の心情の変化について考え る。 3 最後の場面について、「今」と「そのとき」と で、どんなところが重なるか、話し合う。 [学びをひろげよう] 4 「少年の日の思い出」と読み比べ、それぞ れの作品の特徴や、共通点・相違点につ いて考える。 ◆学習目標を再確認し、学びを振り返る。	1 時間	関 主人公の心情の変化を読 み取ろうとしたり、表現の工 夫や特徴について考えをも ととしたりしている。 読① 情景や行動の描写に表 現されている、主人公の心 情の変化を読み取ってい る。 読② 文脈の中のことばの意 味を的確に捉え、表現の工 夫や特徴について考えをも っている。 言 事象や行為などを表す多 様な語句について理解を深 めている。	Cア・Cウ・C エ [言語活動] Cア(音読・ 朗読)
	205	読み方を学ぼう⑥【情 景描写】書かれてい ない気持ち  ●情景や行動の描写に 表現されている、主人 公の心情の変化を読 み取る。 ●文脈の中のことばの 意味を的確に捉え、 表現の工夫や特徴に ついて考えをもつ。					
<p>◇現行の学習指導要領では、「共通語と方言の果たす役割」は第2学年で学習する内容でしたが、新学習指導要領では第1学年で学習することになりました。これにより、学習機会を確保するため、令和2年度の1年生には、「共通語と方言の果たす役割」の指導が必要となります。必ずしも時期の指定はございませんが、1年生の間に指導をお願いいたします。</p> <p>◇必要に応じて、移行措置資料をご活用ください。  <a href="https://tb.sanseido-publ.co.jp/j-school/js-kokugo/28-jkokugo/transition-measures/">https://tb.sanseido-publ.co.jp/j-school/js-kokugo/28-jkokugo/transition-measures/</a></p>							
	207	漢字を身につけよう8 【漢】  ●漢字の読み書きにつ いての理解を深める。		1 中学校で学習する漢字を読む。 2 中学校で新しく学習する読みを学ぶ。 →p301 資「一年生で学ぶ漢字字典」	関 新しく学習する漢字の読 み書きについて関心を深 め、意欲的に習得しようと している。 言 新しく学習する漢字の読 み書きについて理解を深め ている。	伝国ウ(ア)	
	208 ～ 212	一年間の自分とクラ スを振り返って グル ープ新聞 【話聞/書】  ●取材して集めた情報 を、編集会議によって 検討したり整理したり する。 ●文章を読み返し、表 記や表現の仕方など を確かめて、正しく読 みやすいものにする。	7	◆学習目標と学習の流れを確認し、学習の見 通しをもつ。 1 中学校生活を振り返って、記事にする材 料を集める。 2 編集部を編成し、記事の内容を深める。 →p264 資「インタビューをする」/p266 資 「アンケートをとる」 3 レイアウトに基づき、記事を書く。 4 記事を推敲し、紙面を作る。 →p277 資「推敲の仕方と観点」 5 新聞を読み合う。 ◆学習目標を再確認し、学びを振り返る。		関 一年間の自分とクラスを振 り返りながら、グループ新聞 づくりに積極的に取り組ん でいる。 話聞 取材して集めた情報 を、編集会議によって検討 したり整理したりしている。 書 文章を読み返し、表記や 表現の仕方などを確かめ て、正しく読みやすいもの にしている。 言 事象や行為などを表す多 様な語句について理解を深 めている。	Aア・Bエ [言語活動] Aイ(対話 や討論)・B イ(図表を 用いた説明 や記録)



単元名	ページ	教材名【領域】 ●学習目標	時数	おもな学習活動	評価規準B (おおむね満足できる状況)	学習指導要領 の指導事項・ 言語活動例
	213	漢字を身につけよう9 【漢】  ●漢字の読み書きにつ いての理解を深める。		1 中学校で学習する漢字を読む。 2 中学校で新しく学習する読みを学ぶ。 →p301 資「一年生で学ぶ漢字字典」/p303 資「都道府県名の一覧」	関 新しく学習する漢字の読 み書きについて関心を深 め、意欲的に習得しようと している。 言 新しく学習する漢字の読 み書きについて理解を深め ている。	伝国ウ(ア)
<p>◇都道府県名に用いられる漢字のうち、現行の学習指導要領において小学 5・6 年に担当されていた漢字は、新学習指導要領では 全て小学 4 年の担当になりました。また、下記の 20 字が、新たに 4 年担当になりました。 【茨, 媛, 岡, 瀧, 岐, 熊, 香, 佐, 埼, 崎, 滋, 鹿, 縄, 井, 沖, 栃, 奈, 梨, 阪, 阜】 上記漢字の学習機会を確保するため、令和 2 年度の 1 年生・2 年生には、これらの漢字の指導が必要となります。</p> <p>◇必要に応じて、移行措置資料をご活用ください。 <a href="https://tb.sanseido-publ.co.jp/j-school/js-kokugo/28-jkokugo/transition-measures/">https://tb.sanseido-publ.co.jp/j-school/js-kokugo/28-jkokugo/transition-measures/</a></p>						
	214 ～ 215	歌のことば 風が吹 いている				



[配当時数] 140 時間（書写 20 時間を除く，全 120 時間）

1. 学校の授業で取り上げることが必要であると考えられる教材・学習活動：99 時間
2. 学校の授業以外の場で学習が可能であると考えられる教材・学習活動：21 時間